



## 2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ  
コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 次郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 熊田 圭一郎

TEL 03-5487-7855

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年6月期第2四半期の業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	692	6.2	108	1.3	108	1.2	81	1.6
2022年6月期第2四半期	652	15.7	106	131.9	106	131.7	80	131.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	52.74	
2022年6月期第2四半期	51.87	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	1,983	1,487	75.0
2022年6月期	1,882	1,433	76.1

(参考)自己資本 2023年6月期第2四半期 1,487百万円 2022年6月期 1,433百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		12.00	12.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,343	6.3	170	10.7	170	10.6	128	9.6	83.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	1,536,960 株	2022年6月期	1,536,960 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	5,837 株	2022年6月期	196 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	1,535,908 株	2022年6月期2Q	1,536,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、ロシアのウクライナ侵攻に起因する資源価格の上昇により世界中で物価が上昇し、日本以外の多くの国の中央銀行がその沈静化を目的とした利上げを実施したことから円安が急速に進行し、また、国内の物価にも影響が出始めるなど、先行きが極めて不透明な状況で推移しました。

当社が属する市場および顧客においては、企業のシステム投資ニーズは安定しており、エンジニアの需要も高水準を維持しているものの、今後の状況は予断を許さないものと認識しております。

こうした環境の中、当社は、“ITで経営の今を変える、未来を変える”のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高6億92百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益1億8百万円（同1.3%増）、経常利益1億8百万円（同1.2%増）、四半期純利益81百万円（同1.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ①パッケージ事業

主力製品であるクラウドERP「MA-EYES」について、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料が増加しましたが、既存ユーザーからの追加開発に関する受注が減少したことから、売上高は4億9百万円（前年同四半期比2.5%減）、セグメント利益は1億96百万円（同0.6%増）となりました。

#### ②システムインテグレーション事業

パッケージ事業の減収に伴い、一部エンジニアをパッケージ事業から本事業にシフトさせたことから、売上高は2億83百万円（前年同四半期比21.8%増）、セグメント利益は64百万円（同21.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は19億83百万円となり、前事業年度末に比べ1億1百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の堅調な推移に伴う売掛金の増加や、現金及び預金の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は4億96百万円となり、前事業年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は14億87百万円となり、前事業年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,656,327	1,686,220
売掛金及び契約資産	142,473	196,405
仕掛品	1,008	—
前払金	—	17,247
前払費用	9,982	8,408
未収収益	1	—
未収入金	—	3,871
その他	288	194
流動資産合計	1,810,080	1,912,345
固定資産		
有形固定資産	83	69
投資その他の資産		
長期前払費用	5,676	4,257
敷金	24,121	24,121
繰延税金資産	42,230	42,230
投資その他の資産合計	72,027	70,608
固定資産合計	72,110	70,677
資産合計	1,882,189	1,983,022
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,160	27,742
契約負債	200,757	200,695
未払金	8,362	2,972
未払費用	18,277	15,549
未払消費税等	21,045	22,421
未払法人税等	32,053	32,384
未払事業所税	1,670	882
預り金	19,716	10,882
賞与引当金	—	37,655
受注損失引当金	42	—
アフターコスト引当金	—	6,532
未払配当金	148	204
流動負債合計	324,231	357,917
固定負債		
退職給付引当金	124,726	138,229
固定負債合計	124,726	138,229
負債合計	448,957	496,146
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,632	232,632
資本剰余金	286,063	286,063
利益剰余金	914,979	977,539
自己株式	△441	△9,359
株主資本合計	1,433,232	1,486,876
純資産合計	1,433,232	1,486,876
負債純資産合計	1,882,189	1,983,022

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	651,853	691,975
売上原価	343,429	375,421
売上総利益	308,424	316,554
販売費及び一般管理費	202,137	208,865
営業利益	106,287	107,689
営業外収益		
受取利息	7	8
雑収入	76	41
営業外収益合計	83	49
営業外費用		
雑損失	—	45
営業外費用合計	—	45
経常利益	106,370	107,693
税引前四半期純利益	106,370	107,693
法人税等	26,659	26,692
四半期純利益	79,711	81,002

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	419,917	231,936	651,853	—	651,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	419,917	231,936	651,853	—	651,853
セグメント利益	194,550	52,661	247,211	△140,924	106,287

- (注) 1. セグメント利益の調整額△140,924千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	409,460	282,515	691,975	—	691,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	409,460	282,515	691,975	—	691,975
セグメント利益	195,740	64,061	259,801	△152,113	107,689

- (注) 1. セグメント利益の調整額△152,113千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。